

## OECDの洞察がリトアニアの コミュニティメンタルヘルスケアに影響を与えた

リトアニア保健省メンタルヘルス部門がEUCOMSネットワークの最新の正式参加者の1つとして加わったことを光栄に思います。リトアニアは、OECDの包括的な分析と、よりコミュニティに根差し、リカバリー中心の精神保健ケアシステムに向けた明確なビジョンに基づいた精神保健改革に向け野心的なステップを踏みながら2025年を迎えます。

この号では、病院中心のアプローチからアクセスしやすいコミュニティベースのケアへの移行を目指すリトアニアの精神保健改革に焦点を当てています。OECDのレポートは、人的資源の偏在や偏見から心理社会的サービスの必要性に至るまで、主要な課題に光を当て、体系的な変革のロードマップを示しています。

リトアニアチームのサービス強化、デイセンターと移動チームの拡大、そして実体験を持つ人々をアンバサダーとして権限を与える取り組みは、本当に感動的です。彼らの仕事は、お互いから学び、権利に基づく実践を推進し、現場で実際に影響を与えるというEUCOMSの精神を体現しています。

私たちは、拡大を続けるネットワークの一員として、リトアニアの進歩をサポートし、共有できることを嬉しく思っています。

## Topics

OECD report highlights urgent needs and guides systemic transformation

Focus shifts from hospital-based care to community-based mental health services

New mobile teams, day centers, and recovery-based practices are being implemented

Over 130 mental health ambassadors lead a national anti-stigma campaign

## OECD報告書は緊急のニーズを強調し、制度改革を導く

リトアニアにとって、EUCOMSネットワークへの参加により2025年を迎えることは大きな喜びです。  
ネットワークの活動やイベントに参加できることを楽しみにしています!

現在、リトアニアの精神保健ケアシステムは入院中心の医療に偏っており、入院率、再入院率が高く、精神保健ケア予算の大部分が入院治療に費やされています。精神保健ケアサービスの有効性を向上させるため、リトアニアは2022年から精神保健ケア改革計画を実施しています。

この改革はOECDが実施した詳細な分析から始まります。  
報告書は英語原文のニュースレターのリンクからアクセスできます。



OECD Health Working Papers No. 143

The provision of community-based mental health care in Lithuania

Doron Wijker,  
Paola Sillitti,  
Emily Hewlett

この報告書は、リトアニアが重大な精神保健問題に直面していることを強調しています。リトアニア人の6人に1人以上が毎年精神保健の問題を経験しています。ある程度の進歩はあるものの、同国は依然として欧州連合内で最も高い自殺率に悩まされており、特に農村部の人々と男性の間でその傾向が顕著です。精神保健の支出はOECD平均を下回ったままで、リソースは病院ベースのケアに偏って割り当てられており、精神保健予算のほぼ60%を占めています。

コミュニティベースの精神保健ケアは資金不足であり、十分なリソースが確保されていません。ほとんどの患者にとって最初の窓口となるプライマリケアセンターは、過密状態、サービスの不足、中程度から重篤な症状を管理する能力の不足に悩まされています。その結果、地域で治療できるケースであっても、入院に過度に依存することになります。

心理療法サービスは著しく不足しており、心理療法を提供しているのはプライマリ精神保健サービスの3%未満です。そのため、多くの人々が民間の治療を求めざるを得ず、公平性に関する懸念が生じています。医療制度は依然として薬物療法に大きく依存しており、代替治療の選択肢が限られていることが浮き彫りになっています。

精神疾患をめぐる偏見は、依然として治療への大きな障壁となっています。公式および非公式の偏見は、助けを求める行動を妨げ、精神疾患と診断された個人に対する法的規制が問題を悪化させています。この偏見と、アクセスしやすく包括的なサービスの欠如は、特に農村部のコミュニティをはじめとする特定の地域の人々に影響を及ぼしています。

人的資源の課題も、効果的なケアの

提供を妨げています。リトアニアでは人口に対して精神科医の数が多いものの、その分布は不均一で、地方では深刻な精神科医不足に直面しています。公的機関では心理学者や児童・青年期精神科医が深刻に不足しています。

報告書は、ケアの提供をコミュニティベースに再調整するための体系的改革の必要性を強調しています。主な推奨事項には、外来サービスへの資金提供の増額、心理療法へのアクセスの拡大、人的資源の不均衡への対処、特に入院から外来ケアへの移行時のケア調整の改善などがあります。サービス利用者の関与の仕組みを強化し、品質と結果をモニタリングするデータ収集を強化することも重要です。

リトアニアは精神保健ケアにおいては、コミュニティベースのケアを優先し努力してきましたが、アクセスの障壁や偏見など根本的問題に対処する強固で公平かつ持続可能なシステムを構築するために、依然として多大な努力が必要です。

## リトアニアにおけるメンタルヘルス改革の構成要素

病院中心のサービスからコミュニティベースのサービスへの移行には以下が含まれます。

- 既存のデイホスピタルセンター（42の新しいセンター）を拡張する。特に、そのようなサービスが不十分または不足している地域において行います。
- 複雑な医学的および精神的疾患を持つ人々を対象に、柔軟なACT/集中ケースマネジメントモデルを使用して長期的、継続的、移動型のサポートを提供する19の新しいチームを創設。
- 一貫した継続的なサポートを必要とする患者のためのプライマリ精神保健ケアセンターでのケースマネジメント。

### 精神保健サービスの質と性質の変革：

- リカバリーに基づくアプローチの開発
- 病院における人権に基づく実践の拡大
- あらゆるレベルの心理的・心理社会的サービスへのアクセスの向上
- 専門家がクライアントとの業務において証拠に基づく実践を確実に行います。

以下の方法により、偏見を減らし、精神保健リテラシーを高めます。

- 長期的な広報（public communication）キャンペーン
- メンタルヘルス・アンバサダーイニシアチブ:130人以上のアンバサダー(実体験を持つ人々)が、継続的かつ目に見える形で反スティグマおよび精神保健リテラシーキャンペーンを通じて、一般の人々と自分たちの体験を共有します。

私たちは、精神保健システムと人々の福祉の向上に取り組んでいるEUCOMSネットワークの他の国々と経験を共有し、洞察を得ることに興奮しています。

保健省の精神保健部門チームとして、私たちは今後の課題と変革的な取り組みを念頭に置いています。献身的なチームとして、私たちの部門の各メンバーは、精神保健システムの進化するニーズに適応し、対応し続けるよう努めています。

私たちはこのネットワークに参加できる機会を大変ありがたく思っており、皆様との生産的な交流を楽しみにしています。改革の取り組みを進める中で、実りある議論、共通の学び、相互支援が生まれることを期待しています。



リトアニア保健省精神保健課チーム

イグナス・ルビカス-保健省メンタルヘルス部長

グレタ・ストンクテ-保健省メンタルヘルス部の主任専門家

Upcoming on-location EUCOMS meeting

フランス公衆衛生学会会議 フランス、リール

5 - 7 November 2025



[Click here to review the previous and future webinars](#)

パートナーになりませんか？

それは可能です！精神疾患に苦しむ人々へのサービスを提供またはサポートする個人や組織は、パートナーまたは協力者になることができます。詳細と登録については、以下のリンクをクリックしてください。（英語原文にはリンクがあります。）

[CLICK TO SUBSCRIBE TO OUR EMAIL NEWSLETTER](#)

[CLICK TO JOIN OUR NETWORK](#)

Find us on social media:



Our mailing address is:  
[info@eucoms.net](mailto:info@eucoms.net)

Copyright © 2025 EUCOMS Network. All rights reserved.